

戸田市薬剤師会 定例理事会議事録

記録日	R3.8.24
記録者	芹澤

日時	令和3年8月24日 13:00~15:00	出席者	染川、野口、小澤、鎌田、鯨井、 芹澤、宮下
場所	多世代交流館 A 会議室		

議題

会長報告
副会長・委員会報告
理事・委員会報告
その他

会議内容

染川会長

●中央ブロック会議（ZOOM）内容について

- ・ジェネリック医薬品の供給体制逼迫の影響について、ジェネリック率の計算において供給できていない医薬品を分母からはずすことを、日薬が厚労省と交渉中とのこと。
- ・チェーン薬局の人事異動など、入退会の確認が難しくなっている。県薬会長としては、年度末までに退会届が提出されていない方の会費は請求する方針とのこと。

●川口市 FAX 手数料請求の件は、メールで会員の皆様にお知らせしたとおり、支払いしなくてよい。

●人が密にならないための一つの環境基準とし CO2 濃度がある。学校薬剤師による教室の濃度は1500ppm以下だが、新型コロナの室内歓喜対策としては1000ppm以下が求められている。最近デジタルCO2メーターも手軽に購入できるようなので、一考の価値はあるかと思う。

野口副会長

●理事会の書記について、芹澤副会長が行っているが、皆の意見の収集で議論に参加しづらい場面があると認識している。書記を会員から選定できないか？総務委員会のほうで話し合うことを芹澤副会長が提案し了承される。

●社協との高齢者フレイル予防のコラボ企画について経過と実際のチラシを見せて説明。マツモトキヨシ戸田西口店について、この表記のままだとドラッグストアのほうに皆行ってしまうとのことで、スタンプラリー台紙には正式名称の「調剤薬局マツモトキヨシ戸田駅西口店」と表記することとなる（後日本メディカルシステム北戸田店の前にも「調剤薬局」が入ることが判明し、こちら原稿を訂正することになった）。

●かなり前だが、会員薬局に配る何かしらのステッカー類のものを作成するとなっていて、この案件がそのままになっていた。ステッカーを作るにあたり、ロゴそのものを作る声上がり、全会一致で承認された。その際、出席役員複数から貼るスペースによりデザインが縦なのか横なの

か決まってくることもあり、どちらでもできるようにデザインを作成してもらうよう注文がついた。また、業者のコンペのコンペ作品から会員が選ぶこととした。

●コロナ禍で健康祭りが中止となったりして難しい状況にあるが、HPに地域貢献のNEWSが少ない、との見解あり。

●コロナ禍で費用のかかる活動が制限されており、会費が一時的にたまっている状況にある。会員に対するキャッシュバックや会費が会員の新規獲得に向け、入会金(補助)キャンペーンを行うことも考えたかどうか、との提案あり。小澤理事よりお金で渡す、もので渡す、他お見舞金で渡すなどいろいろな選択肢があるので時間かけてしっかり議論するよう意見あり、全会一致で継続審議となった。

<危機管理災害対策委員会>

●現在の課題について抽出した。

- ・災害拠点薬局（第一薬局）の整備についての具体策
- ・会としての備蓄品の選定
- ・戸田市防災課に出す「連絡担当者名簿」について一こちらはその場で全会一致で承認。上2つについては、継続審議とする。

鎌田理事

<学術研修委員会>

- コミナティの手技研修会実施報告。
- 当会が日本薬剤師会研修センターの、「研修を行える機関」であることが承認された。
- 個人での研修センターへの登録について、染川会長より質問あり。登録はしたが、ログインしても進まない、とのこと。要確認事項であるが、運用がまだ先なので公開していない可能性あるとの見解示す。

鯨井理事

<地域連携委員会>

- MCSの中の名称を「地域連携薬剤師の会」としたいとの考え示すが、野口副会長より地域連携の前に、「地域活動」を薬剤師に提供していく仕事となる以上地域活動は外せないのではないかと意見あり、当議論初めからの名前通り「戸田市地域活動薬剤師の会」となり、全会一致で承認された。
- 9月ころには情報を出せるように委員間でも連絡とって話し合っている。招待の仕方もわかってきたとのこと。
- 9/10TODA 元気復活体操、薬と健康について講演する。まず委員長の私がやってみて、それをシステムに落とし込んでいずれはどんどん振っていくとの発言あり。

小澤理事

<保険薬局委員会>

- 戸田中央総合病院との薬薬連携について引き続きコンタクトをとっていく。
- 戸田中央病院の退院時薬剤科のレポートについて芹澤副会長より質問あり。調べたところ、先方の薬剤師により、レポート書ける方とそうでない方がいるため、院内ルール化されているわけではないとのこと。対象の患者としては入院中に服用薬が変わった方とのこと。芹澤副会長としては、地域連携薬局の要件である入退院時レポートの布石になる、いずれは退院時共同指導

に発展できる案件にならないか、との再質問あったが、そのような話と同軸ではないとの考えを示した。

芹澤副会長

●注射針の回収事業について、保留案件であることを新理事に説明。染川会長、野口副会長より議論の流れを説明してもらった。注射針の回収事業というと東京都が長年行っており、地域体制加算の要件であるかかりつけ薬剤師の資格要件としてチェーン店の当会入会時に必ず希望される事業であるが、どのくらい会で補助をするのか、という段階で議論が止まってしまっている現状を皆で確認。継続して議論していくことで一致をみた。

決定事項

- 新ロゴの作成
- 戸田市防災課に出す「連絡担当者名簿」

検討事項

- 会費の一部返還等会費の有効活用について
- 災害拠点薬局の整備の具体策
- 災害備蓄品の選定
- HPの有効活用
- 注射針の回収事業